

くよみ通信

No. 24 2020/11/01

横山山の石碑群を講話 掘られた文字を読み解く

10月1日の「横山山石碑群」は、あいにくの雨天のため見学は取りやめ、中川継助氏を迎えて市民センターでの講話となった。

講師によると、石碑に刻まれた文字をていねいに読み解くと、いろいろなことがわかるとのこと。

その一例が「古峰山」。古峰山と彫られた石碑が、仙台市内に多いが、その信仰は、栃木県鹿沼市の「古峯神社」に由来するという。

日光高原古峯ヶ原（こぶがはら）に鎮座するので、こぶ、またはふるみね、こみねとも読む。火防、盗難除け、五穀豊穡、養蚕の神として信仰されたとのこと。

漢字の異字体にも多くの質問が寄せられ、盛況だった。



↑講師の中川継助氏を迎えた、石碑の講話は、盛況だった
←「古峰山」と彫られた石碑



中山街道の二度目の踏査 新たな発見が

10月15日、中山街道を判場から狼石（おいぬいし）まで踏査した。

二度目になった、ゴルフ場の敷地内にある旧道を歩き、現在の道に降りるために高い塀を網柵を頼りに伝って、ようやく全員無事着地。これも二度目。今回は、狼石の手前の公園にあった石碑を発見。「山神」と刻まれたもの。これも、街道沿いに建立されていたものと思われる。

石碑の拓本に挑戦

吉成市民センターの奥土館長を中心に、石碑の拓本制作を試みた。

10月15日は芋沢街道筋の「瘡瘡神」、27日は新たに発見した「判場の馬頭観音」の石碑を拓本にした。

けっこううまくいき、これは、青中フェスで、複製にして飾るつもり。

青陵中等教育学校放送部から

10月2日、青陵中等教育学校の放送部から取材を受け、木村代表、浅野、戸川が対応にあたった。



↑青陵中等教育学校の学校林として、もっと教師や生徒たちにも積極的に関わってほしい旨、熱く語った。珀杜グループの活動にも触れた

また、青陵中等教育学校とのコラボで、27日巣箱作りをした。詳細は次号に。

2020年11月の活動予定

11/5(木) 定例会

「青陵の森」

- ◆素材集めをします
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加

11/12(木)

石碑複製づくり

11/19(木) 定例会

「青中フェス」制作・準備

- ◆3枚のパネルを制作します
- 集合 10:00 吉成市民センター
- 会員のみ参加

11/26(木)

予備日に当てています

11/28(土)

「秋保地域資源活用委員会」との情報交換会

- 集合 13:00 吉成市民センター
- 会員のみ参加